

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヤマックス

コード番号 5285 URL <http://www.yamax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 茂森 潔

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長

(氏名) 長岡 純生

TEL 096-381-5871

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,651	47.5	△228	—	△254	—	△253	—
24年3月期第1四半期	1,796	△19.6	△202	—	△235	—	△240	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △268百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △244百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△30.98	—
24年3月期第1四半期	△29.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	11,739	2,328	19.8
24年3月期	12,625	2,637	20.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,328百万円 24年3月期 2,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	20.0	△180	—	△250	—	△260	—	△31.75
通期	13,200	14.8	230	—	100	—	30	△50.1	3.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	11,580,000 株	24年3月期	11,580,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	3,391,912 株	24年3月期	3,391,716 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	8,188,114 株	24年3月期1Q	8,189,263 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要等を背景として緩やかな回復基調にあるものの、長期化する欧州債務危機の影響による不安定な為替動向や世界経済の先行き不安、また、国内における電力の安定供給懸念など依然として厳しい状況にて推移しております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、東日本大震災の被災地の復旧・復興に向けた具体的な動きが加速されると思われるものの、第1四半期ということもあり、他の地方自治体における公共事業の取り組み姿勢は消極的な動きに留まっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新たな商圈エリアへの取り組みや現状の課題に対する見直しなどを骨子として新たに策定した「中期経営計画」が当年度よりスタートいたしました。具体的には、東日本大震災の被災地に向けたコンクリート製品の供給責任を果たすことを目的とした株式会社東北ヤマックスへの総合的な支援や、熾烈な価格競争に対応しうる製造コストを目指した関東地区における生産体制の再構築、また、継続的な取り組みである設計営業の強化や土木用大型コンクリート製品の普及推進を掲げ、販売力の強化とシェアの拡大に注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26億5千1百万円（前年同期比47.5%増）となり、営業損益は2億2千8百万円の損失（前年同四半期は2億2百万円の損失）、経常損益は2億5千4百万円の損失（前年同四半期は2億3千5百万円の損失）、四半期純損益は2億5千3百万円の損失（前年同四半期は2億4千万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

土木用セメント製品事業

東日本大震災の被災地の復旧・復興に向けた国の具体的な施策は乏しかったものの、一部民間による作業環境整備への着手など被災地の復旧に向けた確実な手掛かりとなる動きが進みつつあります。

このような状況の中、公共事業の発注状況は消極的な姿勢のまま推移しているものの、設計活動を精力的に進めるとともに、民間工事への関与も強化するなど、売上の確保に繋げるための活動に注力いたしました。

また、前期末に株式会社東北ヤマックスが連結子会社となったこともあり、当事業の売上高は前年同期に比べ41.0%増の14億6千万円となりましたが、同社の再建初年度のスタートに係る販管費などの固定費負担や、当社の売上構成において、自社製品よりも粗利率の低い仕入商品の売上割合が多かったこともあり、営業損益は6千1百万円の損失（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあります。

建築用セメント製品事業

各地方自治体における消極的な公共事業への取り組みに比して、民間設備投資は緩やかな回復基調にて推移しておりますが、関東地区においては依然として同業者間における熾烈な価格競争が続いております。

このような状況の中、設計事務所およびゼネコンに対する設計活動の強化に努め、受注確保に繋げる営業活動に取り組んでおり、九州地区においては受注活動並びにその実績も順調に推移しております。また、関東地区においては、案件数が回復基調にある中、下落した販売単価への対処を目的とした生産集約に伴い、株式会社ミナト建材の下館工場の休止準備を進めております。

この結果、売上高は11億4千2百万円（前年同期比55.5%増）、営業損益は3千6百万円の損失（前年同四半期は6千6百万円の損失）となりました。

その他の事業

不動産関連事業におきましては、戸建住宅の販売を強化する方針でスタートしてから1年余りが経過し、自社ブランド「さらりの家」の認知度も徐々に高まっており、モデルハウスを集客拠点とした営業活動を行っております。また、サービス事業における「エバメール化粧品」を主力とした化粧品・健康補助食品の販売にも注力いたしました。

この結果、売上高は4千8百万円（前年同期比82.3%増）となりましたが、営業損益は1千7百万円の損失（前年同四半期は2千7百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 8 億 8 千 5 百万円減少の117億 3 千 9 百万円となりました。これは主に、売上債権の回収などにより受取手形及び売掛金が 7 億 9 千 1 百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 5 億 7 千 5 百万円減少の94億 1 千 1 百万円となりました。これは主に、支払手形の決済や仕入債務の支払いなどにより支払手形及び買掛金が 3 億 9 千 5 百万円減少したことや、借入金の返済により短期借入金及び長期借入金が 1 億 8 百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 3 億 9 百万円減少の23億 2 千 8 百万円となりました。これは主に、剰余金の配当及び四半期純損失により利益剰余金が 2 億 9 千 4 百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間までの業績は予定通り推移しており、平成24年 5 月11日付の「平成24年 3 月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第 3 四半期連結会計期間及び第 4 四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第 1 四半期連結会計期間及び第 2 四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあり、今後も同様の理由により季節的変動が予想されることから、業績を判断する際には留意する必要があります。

2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（原価差異の繰延処理）

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	571,644	466,608
受取手形及び売掛金	3,460,845	2,669,169
商品及び製品	1,694,311	1,714,397
未成工事支出金	26,437	26,324
原材料及び貯蔵品	235,148	223,367
その他	95,246	90,202
貸倒引当金	33,910	26,488
流動資産合計	6,049,724	5,163,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,262,274	1,244,958
土地	3,631,248	3,631,248
その他（純額）	863,615	900,366
有形固定資産合計	5,757,138	5,776,574
無形固定資産	127,749	126,180
投資その他の資産		
その他	857,012	847,414
貸倒引当金	166,168	173,777
投資その他の資産合計	690,843	673,636
固定資産合計	6,575,731	6,576,390
資産合計	12,625,456	11,739,972
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,089,086	2,693,966
短期借入金	2,472,624	2,485,501
未払法人税等	46,553	12,701
賞与引当金	21,359	47,882
受注損失引当金	96,695	51,580
その他	514,682	482,286
流動負債合計	6,241,002	5,773,918
固定負債		
長期借入金	3,037,672	2,916,172
退職給付引当金	571,906	564,851
役員退職慰労引当金	49,133	53,770
その他	87,750	103,008
固定負債合計	3,746,462	3,637,802
負債合計	9,987,464	9,411,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,752,040	1,752,040
資本剰余金	492,286	492,286
利益剰余金	903,774	609,181
自己株式	507,841	507,862
株主資本合計	2,640,259	2,345,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	17,394
その他の包括利益累計額合計	2,268	17,394
純資産合計	2,637,991	2,328,251
負債純資産合計	12,625,456	11,739,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	1,796,879	2,651,146
売上原価	1,464,090	2,274,041
売上総利益	332,789	377,104
販売費及び一般管理費	535,490	605,178
営業損失 ()	202,701	228,073
営業外収益		
受取利息	413	421
受取配当金	3,062	3,179
受取賃貸料	7,225	6,380
貸倒引当金戻入額	9,388	125
持分法による投資利益	-	1,027
その他	2,549	5,671
営業外収益合計	22,639	16,805
営業外費用		
支払利息	33,987	35,021
手形売却損	2,147	3,948
持分法による投資損失	5,550	-
その他	13,939	3,791
営業外費用合計	55,625	42,761
経常損失 ()	235,688	254,029
特別損失		
投資有価証券評価損	-	671
特別損失合計	-	671
税金等調整前四半期純損失 ()	235,688	254,700
法人税、住民税及び事業税	4,453	5,175
法人税等調整額	-	6,224
法人税等合計	4,453	1,049
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	240,141	253,651
四半期純損失 ()	240,141	253,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	240,141	253,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,709	15,126
その他の包括利益合計	4,709	15,126
四半期包括利益	244,851	268,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,851	268,778

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第 1 四半期連結累計期間 (自平成23年 4 月 1 日 至平成23年 6 月30日)

1 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,035,785	734,385	1,770,170	26,708	1,796,879	-	1,796,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	285	285	395	681	681	-
計	1,035,785	734,671	1,770,456	27,104	1,797,560	681	1,796,879
セグメント利益又はセグメント損失 ()	3,663	66,936	63,273	27,999	91,272	111,428	202,701

(注) 1 . 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2 . セグメント利益又はセグメント損失の調整額 111,428千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 . セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 . 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成24年 4 月 1 日 至平成24年 6 月30日)

1 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,460,269	1,142,179	2,602,449	48,696	2,651,146	-	2,651,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	539	310	850	430	1,280	1,280	-
計	1,460,809	1,142,490	2,603,299	49,127	2,652,426	1,280	2,651,146
セグメント損失	61,651	36,519	98,170	17,936	116,106	111,966	228,073

(注) 1 . 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2 . セグメント損失の調整額 111,966千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 . セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 . 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。